

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成28年9月14日(水)

児 童 6年1組 男16名 女 6名 計22名

授業者 小林 久美子

- 1 単元名 資料を効果的に活用し、意図を明確に伝えよう
教材名 「町の未来をえがこう」(東京書籍6年)

2 身に付けさせたい力と言語活動の構想

<既習>

- ・伝えたい内容や目的に合わせ、形式を工夫して、資料を作成する。
- ・説明する内容と資料を関連付け、見せ方を工夫して話す。

<児童の実態>

- ・資料を活用して説明することはできるようになってきた。
- ・事例を使って詳しく説明することはあまりできない。
- ・一方的な説明になりがちで、相手の反応を確かめながら説明することは不十分である。
- ・原稿を見ながら発表することはできるが、メモだけで自分の考えを十分には話せない。

<身に付けさせたい力>

- ◎意図が伝わるように適切な事例や資料を挙げ、話の構成、聞き手の興味を引き付けるための話し方や資料の見せ方を工夫して話す。(話すこと・聞くこと イ)
- ・目的に合わせて、収集した知識や情報を関係付けて整理する。
(話すこと・聞くこと ア)

<言語活動>

- ・相手に意図が伝わるように資料を工夫して提示し、プレゼンテーションを行うこと。
(言語活動例 ア)

<単元のゴールの姿>

- 「10年後の遠野」についてプレゼンテーションを行う
- 聞き手の興味を引き付ける。

<話し方>

「～は知っていますね。」「～した人はいますか。」「～と思いますか。」

【聞き手の反応を確かめる】

<資料の見せ方>

「～を見てください。」「その結果をまとめたのが、この表です。」「～を提案します。」

【見せるタイミング・間】

- 意図が伝わるような話の構成で発表する。

【構成を考えた発表の手順】

- ・始めの言葉・・・発表の進め方

「・・・について発表します。(資料①を示しながら)発表は、このような順に進めます。」

- ・参考にしたい事例①
- ・参考にしたい事例②
- ・現状の問題等(アンケート・インタビュー等)
- ・グループの提案

3 単元の見どころ

- ・自分たちの町の10年後に関心を持ち、教材文や本、資料を読んで調べ、その内容を活用して自分たちの考えを相手に伝えようとしている。
(関心・意欲・態度)
 - ・目的に合わせて、収集した知識や情報を関係付けて整理することができる。
(話すこと・聞くこと ア)
- ◎意図が伝わるように適切な事例や資料を挙げ、話の構成、聞き手の興味を引き付けるための話し方や資料の見せ方を工夫して話すことができる。
(話すこと・聞くこと イ)
- ・目的に応じた文章の構成について理解できる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ))

4 評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの町の10年後に関心を持ち、教材文や本、資料をもとに調べ、聞き手を意識してその内容を活用して自分たちの考えを相手に伝えようとしている。 観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した知識や情報を関係付け、整理している。 ア 観察・ワークシート ・聞き手に意図が伝わるように、話の構成や話し方、資料の見せ方を工夫して話している。 イ 発表・観察・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた文章の構成について理解している。 イ(キ) ワークシート

5 単元の指導計画 (11時間)

次時	主な学習活動	見通しと言語活動の手立て	評価規準	
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・10年後の遠野についてプレゼンテーションをすることを確認し、学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市長の「遠野スタイル」によるまちづくりの話をつかきにし、自分たちなりの提案をプレゼンテーションする見通しをもたせる。 【見通し】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの町の10年後に関心を持ち、プレゼンテーションをするという学習課題を確かめ、進んで学習に取り組もうとしている。 (発言・行動観察)
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションについて知り、10年後の遠野についてイメージをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルとなる映像を見ることでプレゼンテーションについて理解させる。 【見通し】 ・マッピングをしながら現在の遠野や10年後の遠野についてイメージを広げ、交流させる。 【言語活動】 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの特徴を理解している。 (発言・観察)
第二次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの構成について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の発表例をもとにプレゼンテーションの構成を考えさせる。 【見通し】 ・構成についての気づきを交流させる。 【言語活動】 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの構成とその良さについて気付いている。 (観察・ワークシート)
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文から資料の活用の仕方や筆者の主張を考え、どのような遠野を目指すのか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料」「事例」そのものを伝えることが目的ではなく、意図を伝えるための「資料」「事例」であることを理解させる。また、資料と言葉とのつながりや活用の工夫についておさえる。 【見通し】 ・アンケートやインタビュー、伝わりづらい言葉を補うものも資料となり得ることを理解させる。 【見通し】 ・資料の意図や効果について話し合わせる。 【言語活動】 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて本や資料などから複数の情報を集め、関係付けて活用している。(ワークシート)

	5 ・ 6	・情報を収集する。	・自分たちの目指す遠野のイメージを拠り所として情報収集をさせる。【見通し】 ・教材文も一つの情報と考え、他にも本、インターネット等複数の情報について、目的を意識しながら収集させる。【言語活動】	
	7	・プレゼンテーションの構成を考え、情報の取捨選択を行い、必要な資料を作る。	・目的に沿って、構成を考えたり情報の取捨選択したりさせる。【見通し】 ・意図と関係付けながら必要な情報を取捨選択し、資料を作成させる。【言語活動】	話・聞 ア ・調べて分かったことや考えたことを関係付け、発表の内容や必要な資料を考えている。 (ワークシート)
	8	・より聞き手を意識したプレゼンテーションにするための方法を考える。	・第2時のモデル映像と本時のモデル映像を比較し、よりよいプレゼンテーションのイメージをもたせる。【見通し】 ・聞き手をより意識したプレゼンテーションになるための視点を交流させる。【言語活動】	話・聞 イ ・映像の比較をもとに、聞き手に意図が伝わる工夫を考えている。 (観察・ワークシート)
	9 (本 時)	・プレゼンテーションをモニタリングし合い、視点に沿って発表会へ向け、準備をする。	・前時の気付きをもとにプレゼンテーションのための視点を確認する。【見通し】 ・発表会本番をイメージし、互いに視点を意識してプレゼンテーションし合う。【言語活動】	話・聞 イ ・自分たちが気付いた視点に沿った、資料の見せ方、話し方をしている。 (発表・観察・ワークシート)
第 三 次	10	・プレゼンテーションによる発表会を行い、意見交換をする。	・前時の学習を生かした発表になるように意識させる。【見通し】 ・聞き手を意識させて、プレゼンテーションを行う。【言語活動】	話・聞 イ ・聞き手に意図が伝わるような、資料の見せ方、話し方をしている (発表・観察・ワークシート)
	11	・学習の振り返りをする。	・互いのプレゼンテーションのよさを交流し合いながら、〈身に付けさせたい力〉について振り返りをさせる。【言語活動】	

6 本時の学習（9時間／11時間）

(1) 目標

発表練習を通して、自分たちが気付いた視点に沿った話し方、資料の見せ方ができる。

(2) 展開

段階	活動内容	○手立て ・留意点 ◇評価規準	備考
導入 5分	1 前時までの活動を想起する。	○前時の気付きをもとにプレゼンテーションのための視点を確認する。 【見通し】 <視点> ・反応を見ながら話す。 ・聞きやすい速さ、間で話す。 ・資料の提示の仕方を工夫する。	中学校区 視点1
	2 本時の課題を確認する。	・前時の学習を想起できるようにワークシートで確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">視点を意識して、プレゼンテーションの練習をしよう。</div>	
	3 本時の学習内容を確認する。 <進め方> 1 視点の確認 2 発表（8分間） 3 助言（3分間）	・ペアとなっているグループで、発表グループとモニターグループの順番を確認させる。 ・話し方などの視点を確認する。	
展開 30分	4 ペアになったグループ同士で発表し、助言し合う。	○発表会本番をイメージし、互いに視点を意識してプレゼンテーションし合う。 【言語活動】 ・モニターグループは気付きをワークシートに記入しながら、聞き、その後に発表グループに気付きを伝えさせる。 ・時間で区切り、発表グループとモニターグループを交代させる。 ◇視点に沿って、資料の見せ方、話し方をしている。 話・聞イ (発表・観察・ワークシート)	・ワークシート
	5 助言をもとに、グループで話し合い、発表を高め合う。	・助言をもとにプレゼンテーションの改善ができるようにグループで話し合わせる。	
終末 10分	6 学習の振り返りをする。	・本時の学習で助言されたことを、次の学習に生かせるように振り返りシートに記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">聞き手の興味を引くために、資料を見せるタイミングや間、相手の反応を確認しながら話す工夫をして、最高のプレゼンテーションを行いたいです。</div>	中学校区 視点2 ・振り返りシート
	7 次時の確認をする。	・次時は、最高のプレゼンテーションを行うことを確認する。	

* 遠野中学校区授業改善の視点に関わって

視点1 〈課題意識の持続のために〉

- ・ 発表会本番のイメージをもたせ、前時に気付いた視点を提示することで、視点を意識した助言ができるようにする。

視点2 〈達成状況の把握のために〉

- ・ 互いのグループで助言し合ったことや聞き手のワークシートに記入したことをもとに見取る。

(3) 板書計画

<p>課題</p> <p>視点を意識してプレゼンテーションの練習をしよう。</p>	<p>視点</p>	<p>① 反応を見ながら話す。</p>	<p>うなずく・確認</p>
		<p>② 聞きやすい速さ、間で話す。</p>	<p>ゆつくり</p>
			<p>はっきり</p>
		<p>③ 資料の提示の仕方を工夫する。</p>	<p>タイミング</p>
			<p>くを見てください。</p>
		<p>△進め方▽</p>	
		<p>一 視点の確認</p>	
		<p>二 発表（八分間）</p>	
		<p>三 助言（三分間）</p>	
	<p>交流タイム</p>		
	<p>ふり返り</p>		
		<p>・ 助言を生かしてプレゼンテーションを行っていききたい。</p>	